



兵庫県立芸術文化センター開館15周年記念事業
佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2020関連企画

楽しく詳しく
作品予習!

歌劇「ラ・ボエーム」

ワンコイン・プレ・レクチャー

～涙腺を緩めさせる秘密を解き明かします～

この夏にお贈りする「ラ・ボエーム」の音楽の魅力や作品に隠された秘密を、
作品を知り尽くした中村敬一さんが生演奏を交えてわかりやすく解説。

本公演でミミ役を務める砂川涼子さんが、一足早く歌声を披露。

夏まで待ち切れないあなたにお届けする、

スペシャルな90分!



昨年度のプレ・レクチャー
「オン・ザ・タウン」より

© 飯島隆



講師：
中村 敬一 (演出家)
Keiichi Nakamura

© Keiichi KIMURA

こんなお話...!?

- プッチーニという作曲家～ヴェルディとは何が違うのか?
- リアリズムとリアリティ～ボエームはヴェリズモじゃない
- お針子、詩人、絵描き…… 登場人物に込められた記号
- 衝撃的な出会い～ミミは何を語ったのか?
- ミミの悲劇を彩るムゼッタの存在
- 象徴的な表現とアイテム～よりボエームを理解するために
- もっと涙するために～ミミの死

ゲスト：
砂川 涼子
Ryoko Sunakawa
(ソプラノ/本公演ミミ役)

掛川 歩美 (ピアノ)
Ayumi Kakegawa

2020 5/27 (水) 11:30 AM開演 / 2:30 PM開演 (各回30分前開場・90分休憩なし)

兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

全席指定 500円 (税込)

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスグ / JR西宮駅より徒歩15分 (阪急バス7分)

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 [10:00AM-5:00PM 月曜休み] ※祝日の場合翌日
www.gcenter-hyogo.jp

チケット予約

■ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 芸術文化センター会員先行予約受付開始 2/20 (木) ※窓口での販売 (残席がある場合) は2/24 (月・休) より

■ ローソンチケット特別電話 0570-084-657 ※受付期間: 2/20 (木) 10:00AM~2/21 (金) 11:59PM (芸術文化センター会員専用・音声自動予約) Lコード不要 購入制限枚数: お一人様4枚まで

■ 2/23 (日) よりローソンチケット 0570-000-407 Lコード [54115] http://l-tike.com ローソン、ミニストップ店頭Loppi (ロッピー) で直接お求めいただけます。

一般発売

2/23日祝

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。
※やむを得ない事情により、出演者等が変更となる場合がございます。予めご了承ください。



兵庫県立
芸術文化センター

15th anniversary

『ラ・ボエーム』を100倍楽しむために ワンコイン・プレ・レクチャー

プッチーニほど音楽の中にドラマを描いた作曲家はいない。儂く美しい物語には、たくさんのオペラの秘密が隠されています。知りたくなったあなたは、迷わずプレ・レクチャーへ。きっと素敵な世界が広がりますよ。

中村 敬一 [演出家] Keiichi Nakamura

はじめ声楽家を志し、武蔵野音楽大学同大学院で声楽を専攻、その後、舞台監督集団「ザ・スタッフ」でオペラスタッフとして活躍。以後、鈴木敬介、栗山昌良、三谷礼二、西澤敬一各氏のアシスタントとして演出の研鑽を積む。1989年より、文化庁派遣在外研修員として、ウィーン国立歌劇場にて、オペラ演出を研修。帰国後、リメイク版「フィガロの結婚」で、高い評価を得、続く二期会公演「三部作」、東京室内歌劇場公演「ヒロシマのオルフェ」、日生劇場公演「笠地蔵・北風と太陽」で、演出力が絶賛され、1995年、第23回ジローオペラ新人賞を受賞する。また、2000年3月には新国立劇場デビューとなった「沈黙」が、高く評価される。2001年ザ・カルテジ・オペラハウス公演「ヒロシマのオルフェ」では、大阪舞台芸術奨励賞を受賞。オペラの台本も手がけ、松井和彦作曲「笠地蔵」「走れメロス」新倉健作曲「ボラーノの広場」、「窓(ウィンドウズ)」などがある。国立音楽大学客員教授 洗足学園音楽大学客員教授 大阪音楽大学客員教授 大阪教育大学講師 沖縄県立芸術大学講師



© Keiichi Nakamura

砂川 涼子 [ソプラノ] Ryoko Sunakawa

武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修了。第34回日伊声楽コンクール優勝。第69回日本音楽コンクール第1位。第12回R.ザンドナイ国際声楽コンクールでザンドナイ賞受賞。第16回五島記念文化賞・オペラ新人賞受賞。藤原歌劇団や新国立劇場、びわ湖ホール等各地で『トゥーランドット』リユー、『カルメン』ミカエラ、『ラ・ボエーム』ミミ、『椿姫』ヴィオレッタ、『死の都』マリー/マリエッタ、『ウェルテル』ソフィー、『ドン・パスクワレ』ゾリーナ等多数の作品に出演し、いずれも高い評価を得ている。藤原歌劇団員。



© FUKAYA Yoshinobu

掛川 歩美 [ピアノ] Ayumi Kakegawa

お茶の水女子大学音楽科卒業、同大学院博士前期課程修了。第7回「長江杯」国際音楽コンクール入選。第11回泉の森フレッシュコンサート並びに泉の森フレッシュガラコンサート出演。大学主催の推薦新人演奏会出演。これまでに、浦史子、芝令子、岩瀬彩、小坂圭太、服部容子の各氏に師事。関西二期会、河内長野ラプリーホール、びわ湖ホール、堺シティオペラ、ミラマレー・オペラ、みつなかオペラ等にてピアニスト、並びにコレペティトウアを務める。



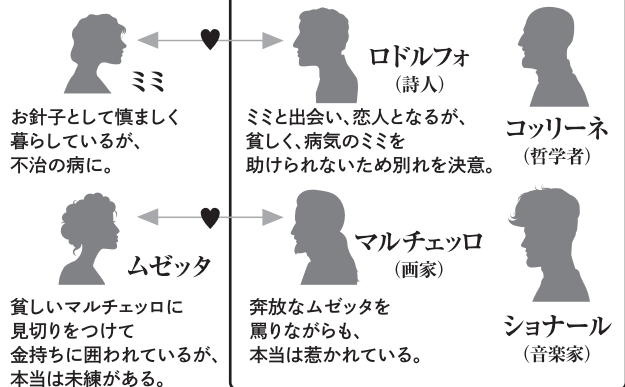
あらすじ

パリ、クリスマス・イヴ。凍えるような部屋。詩人のロドルフォと画家のマルチェッロが薪を買う金もなく仕事に励んでいるところへ、仲間である哲学者のコッリーネと音楽家のシヨナルが帰ってくる。シヨナルの稼ぎを軍資金に、4人は出かけることにするが、ロドルフォは原稿を書き上げるために一人部屋に残る。そこへ「ろうそくの火を分けて欲しい」とやってきたミミ。二人はたちまち恋に落ち、仲間を追って街へと向かう。

物売りや子供達が賑わうパリの街。4人の芸術家とミミはカフェ・モミュスで食事の席に着く。するとマルチェッロの元恋人ムゼッタが現れる。彼女は今や金持ちに囲われる身となっているが、お互いに未練のある二人。遂にムゼッタはバトロンを撒いてマルチェッロの胸へと戻ってくる。

ロドルフォと暮らし始めたミミだが、ある日検問所近くの酒場にいるマルチェッロを訪ね、ロドルフォとの仲に陰りが出ていることを話す。一方のロドルフォもそこにやってきたので、ミミは姿を隠す。マルチェッロに「ミミと別れる」というロドルフォ。やがて身を切る思いで真実を話しはじめ…。

登場人物



7/24, 26, 29, 8/1



ミミ
フランチェスカ・マンツォ

ロドルフォ
リカルド・デッラ・シュッカ

ムゼッタ
リカルド・デッラ・シュッカ

マルチェッロ
グスターボ・カスティエリヨ

兵庫県立芸術文化センター開館15周年記念公演
佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2020

ラ・ボエーム

全4幕 / イタリア語上演・日本語字幕付 / 新制作

[音楽] ジャコモ・プッチーニ

[台本] ジュゼッペ・ジャコーザ、ルイジ・イッリカ

[指揮] 佐渡 裕 [演出] ダンテ・フェレッティ

7/25, 28, 30, 8/2



ミミ
砂川涼子

ロドルフォ
笛田博昭

ムゼッタ
ソフィア・ムケドリシュヴィリ

マルチェッロ
高田智宏

[全8公演] 2020 7/24(金・祝) 25(土) 26(日) 28(火) 29(水) 30(木) 8/1(土) 2(日) 各日2:00PM開演

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール A 12,000円 B 9,000円 C 7,000円 D 5,000円 E 3,000円 [消費税込・全席指定]
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分) 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 [10:00AM~5:00PM 月曜休※祝日の場合翌日] <http://www.gcenter-hyogo.jp>

芸術文化センター会員先行予約受付開始 B・C・D・E席 2/20(木) A席 2/21(金) 一般発売 2/23(日・祝)

主催 / 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター(制作)